

都市再生整備計画(第2回変更)

みよた
御代田地区

ながの みよたまち
長野県 御代田町

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	御代田町	地区名	御代田地区	面積	226.8	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

<p>目標</p> <p>大目標: 究極的に住みやすいまち・居住者に選ばれるまちの実現 目標1: 安全に歩ける空間の創出によるまちなかの回遊性向上 目標2: 魅力ある滞留空間・交流拠点の創出 目標3: まちなかへのアクセシビリティの向上</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>①町の成り立ちと課題 ・本町は、湧水の得られる北側の山麓部や湯川沿いの南側の山麓部に古からの集落が分布するほか、町の東西を横切る旧街道沿いに集落が発達してきた。また、現在のまちの中心部(以下、「まちなか」という)は鉄道駅(御代田駅)の開業とともにその周辺に形成されている。 ・主要な都市施設は用途域内に集約され、生活利便施設はほぼ充足している。特に、まちなかには、駅、町役場、複合文化施設、大規模な公園、郵便局、銀行、診療所、商業施設など主要な都市機能が集積している。また、国道18号と佐久方面を結ぶ幹線道路が整備され、その沿道に複合文化施設や大型の商業施設をはじめ複数の店舗の立地が進んでいる。一方、周辺の生活道路では通り抜けなどの交通量が増加し、まちなかの安全性の確保が求められている。 ・本町は人口増を維持しているが、まちなかの駅周辺部や旧街道沿いの集落では空き家(低未利用地)が多くみられ、その一方で用途地域外での人口増加がみられる。 ・現在の住宅地は、古からの集落のほか、新興の住宅団地や別荘地など多様な居住地がある。町の中心を南北方向に久保沢が流れ、その西側にまちの中心部、東側に人口の多い西軽井沢エリアや住宅団地が位置している。久保沢と鉄道が町内動線の分断要素となり、一部の地域でまちなかへアクセスしづらい状況(渋滞の発生など)となっている。</p> <p>②再編方針 ・まちなかへの居住誘導の観点から、まちなかの住みやすさと魅力向上を図るため、既存道路の拡幅や新規道路の整備を行い、歩行者動線の安全性の確保や回遊性の向上を行うとともに、駅及び駅周辺部の魅力化・交流拠点化、若者や子ども・高齢者が集う場づくりを進め、日常的に人々が集い、にぎわうまちなかをつくる。 ・人口の多いエリアとまちなかを結ぶ円滑な動線を確保し、まちなかへのアクセシビリティの向上を図る。</p> <p>③公的不動産の活用の方針 ・まちなかの再編を進めるなかで、駅周辺や旧町役場跡地などの公的不動産を活用し、駅周辺の駐車場整備による交通インフラの利便性の向上、住宅地の造成によるまちなかへの居住誘導等を進めていく。</p>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○まちづくりの経緯 本町のまちづくりの基本となる「第5次御代田町長期振興計画」(令和3年)では、本町の将来像として「歴史と伝統を守り 真の自立を目指す 文化・高原公園都市 御代田」とし、人口2万人を目標としたまちづくりを進めている。 町の都市計画の基本的な方針を定めている「御代田町都市計画マスタープラン」(平成27年)では、長期振興計画の将来像をもとに、まちの中心づくりの推進、定住性の高い住宅市街地の整備、市街地の骨格形成などの基本方針を定めてまちづくりを進めている。 そのなかの将来都市構造として、まちなかについては「中心商業地」および「行政・文化・交流拠点」に位置付けている。 ・中心商業地: 「駅前」の立地ポテンシャルを活かした業務サービス機能の導入による都市機能の充実と都市基盤整備による商業業務核の形成」 ・行政・文化・交流拠点: 「役場及び複合文化施設エコールみよたとその周辺の基盤整備によるシビックセンター(町民交流の場)の形成」 また、土地利用の基本方針の文化・行政施設用地の配置方針として、「役場、複合文化施設等の公共施設が集積する駅北側をシビックゾーンと位置づけ、文化、交流の拠点地区としてその機能強化を図る。」こととしている。</p> <p>○まちづくりに関する現況 ・御代田町は町全体がコンパクトにまとまってはいるが、まちなかに低未利用地もあり、今後も増える可能性がある。 ・佐久市、小諸市、軽井沢町に接し、住宅地としての魅力が高く、人口増を維持している。 ・複線の鉄道があるが、鉄道利用は低迷し、交通インフラとして十分活用されていない。</p> <p>○近年の動向 ・町役場の移転(平成30年) ・町役場の横に新しい文化拠点としてMMop(文化施設と商業施設を有する複合施設)の開業(令和3年) ・まちの中心部(町役場、駅周辺)の大規模な住宅地開発(今後5年後以内に開始予定)があり、まちなかの整備が進められている。</p>
<p>課題</p> <p>・まちなかの賑わいのなさ、まちなか周辺部の駐車場の不足(車でのアプローチのしにくさ) ・高水準で整備された公園や鉄道駅の有効活用 ・郊外の住宅地からまちなかへのアクセスのしづらさ ・まちなかの生活道路で通り抜けなど交通が増加</p>

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>御代田町長期振興計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口2万人を目標にして、究極的に住みたくなるまちを目指している。 <p>御代田町まちづくり基本計画</p> <p>10年後さらにその先を見据えて、今後のまちづくりのストーリー展開を3段階で進めていく。</p> <p>【展開1】まちづくりの基盤を整える(令和5年～令和9年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの中心部の幹線道路の安全性・快適性の確保、回遊性・アクセスの向上 ・地域に根差した居住地の安全性の確保と住宅ストックの活用促進 ・交通弱者が町内を円滑に行き来できる公共交通のしくみづくり <p>【展開2】まちなかに活気を生み出す(令和10年～令和14年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅を拠点にした交流空間の創出と居心地のよい場づくり ・公園、駐車場、低未利用地などオープンスペースの魅力化 ・御代田町の魅力が感じられる良質な住環境の創出 <p>【展開3】まちの魅力を育てる(令和15年以降)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間、地域内外の人々との交流による魅力の再発見と共有 ・固定概念にとらわれない、官民連携による公共空間の利活用の促進 ・地域づくりや新たな文化創造の取組の創出・支援を図るしくみや体制の構築
--

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

本町のまちなかのエリアは、町役場や御代田駅、複合文化施設(エコールみやた)、郵便局、銀行、診療所、交番、消防署、文化施設、商業施設など多様な都市機能が集積している。今後は、御代田駅を中心とした公共交通機関を活用し、更なる中心拠点区域の活性化(定住・交流人口の増加)を図るため、車や歩行者空間の安全性の確保、交流拠点となる施設の整備、住宅地の整備、商業施設などの立地誘導を進めることにより都市の活力と賑わいを形成する。

住宅地の整備においては、まちなかの低未利用地の活用、および郊外における土地利用規制による民間開発の抑制を行い、まちなか居住を誘導する。

また、郊外からまちなかへのアクセシビリティの向上を図り、まちなかに集約された都市機能の利用を促進する。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

- ①道路整備
- ・東原西軽井沢線 : まちなかと多くの人口を有する東側の住宅地(西軽井沢地区等)をつなぐ幹線道路を新たに整備する。なお、まちなかへのアクセス向上、避難路の確保(一部無電柱化)、町全体での回遊性の向上
 - ・南浦4号支線 : 北側の住宅地から町役場周辺の施設利用へのアクセス向上、歩行者動線の確保
 - ・蛇谷地国道線 : 北国街道から商業施設(ツルヤ)へのアクセス向上、旧北国街道の通過交通(通り抜け)の緩和、未利用地の宅地化
 - ・旭町線 : 町役場およびエコールみやた周辺の歩行者動線・回遊性の強化、通過交通(通り抜け)からの安全性の確保
 - ・塩野御代田停車場線 : 駅から商業施設(モップ)やエコールみやたといった文化・教育施設への回遊性の向上、町を南北につなぐ幹線道路への接続部における歩行者動線の確保
 - ・小田井追分線 : 駅周辺の交通の利便性向上、安全性の確保、歩行者の回遊性の向上
 - ・駅前5号線 : 駅周辺部における回遊性の強化、駅北側と駅前とのつながりの強化
- ②公園整備
- ・龍神の森公園 : 憩いやレクリエーション等のための滞留・交流拠点の機能強化
- ③交流拠点創出に向けた調査検討
- ・御代田駅 : 御代田駅周辺のリニューアルに向けた調査検討
- ④防犯カメラ
- ・町内の5箇所(三ツ谷地下道、駅駐輪場、駅前広場、駅トイレ、栄町地下道)に防犯カメラを設置し、目標1に掲げる安心に歩ける空間の強化(設置箇所: 三ツ谷地下道、駅駐輪場、駅前広場、駅トイレ、栄町地下道)

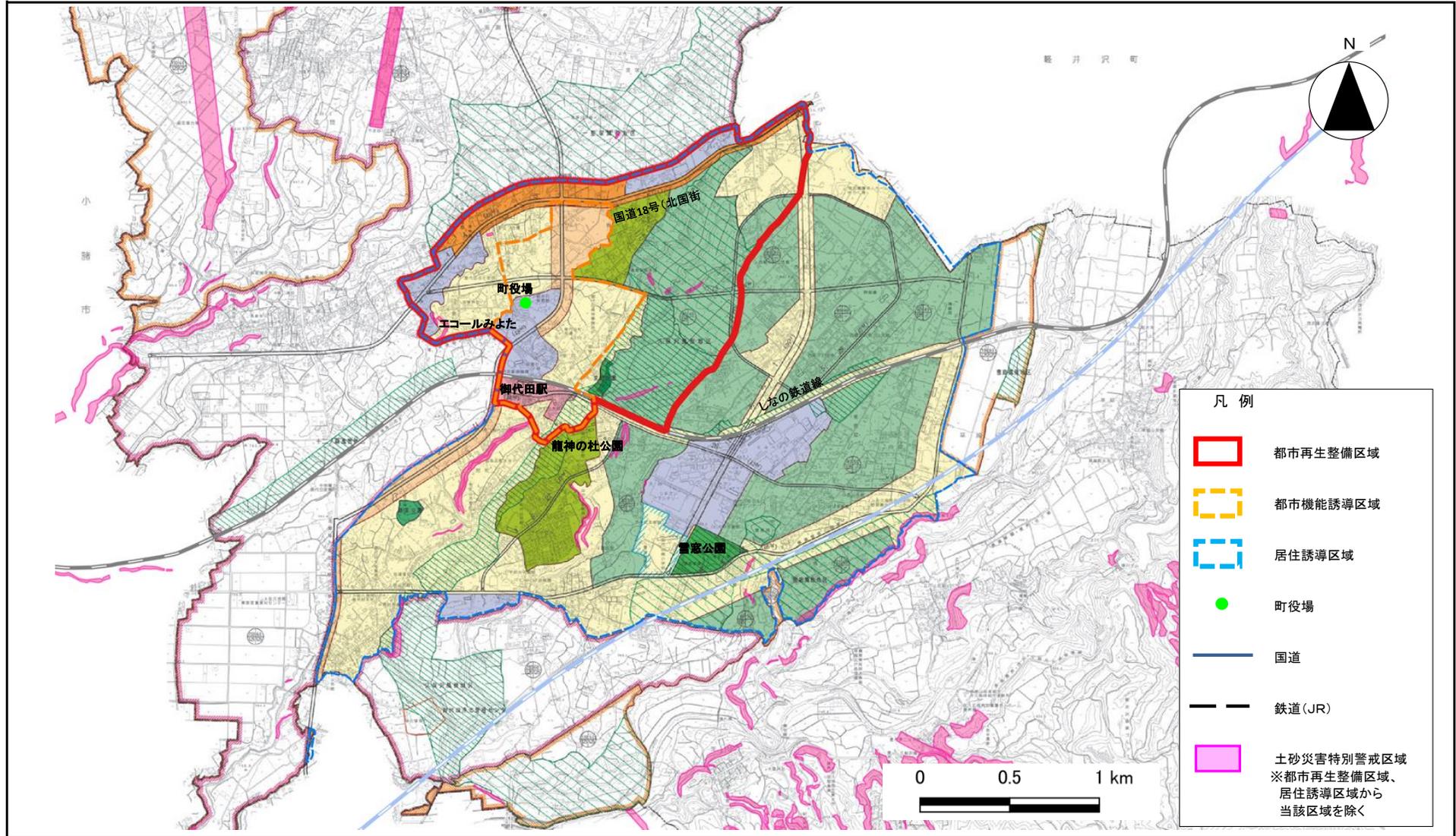
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちなかの安全性の向上	%	住民アンケートの「まちなかエリア内の道路の安全性」の問いに、「十分確保されている」「ある程度は確保されている」と回答した人の割合	新規道路の整備、既存道路の拡幅、歩道の整備等により交通の安全性と回遊性の向上を図る。 目標値は従前より増。	64.7%	R4年度	64.7%以上	R9年度
まちなかの魅力の向上	%	住民アンケートの「まちなかエリアの魅力」の問いに、「十分に魅力を感じている」「魅力は感じているが、改善の余地はある」と回答した人の割合	駅周辺の回遊性と利便性の向上、龍神の杜公園の遊具エリアのリニューアルによる交流拠点の機能強化、御代田駅周辺のリニューアルに向けた検討による新たな交流拠点誕生への期待感により、まちなかの魅力向上を図る。 目標値は従前より増。	50.9%	R4年度	50.9%以上	R9年度
まちなかへのアクセシビリティの向上	%	住民アンケートで「自宅からまちなかエリアまでの行きやすさ」の問いに、「とても行きやすい」「どちらかというと行きやすい」と回答した人の割合	まちなかへのアクセス道の整備、まちなかの通り抜け道路の拡幅等により、まちなかへの行きづらさを改善し、訪れやすいまちなかを目指す。 目標値は従前より増。 (従前値 町全体: 77.9% 西軽井沢地区のみ: 63.6%)	77.9%	R4年度	77.9%以上	R9年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【安全に歩ける空間の創出によるまちなかの回遊性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの拠点施設(役場、駅、公園、複合文化施設、民間商業施設等)をつなぐ歩行者道路の連続性の確保(道路の拡幅、新規道路の整備、歩道の整備) ・歩行者の利便性、まちなかの回遊性の向上 ・まちなかの通り抜け道路の安全性の確保(道路の拡幅等) 	<ul style="list-style-type: none"> 【基幹事業】 南浦4号支線 【基幹事業】 旭町線 【基幹事業】 塩野御代田停車場線 【基幹事業】 小田井追分線 【基幹事業】 駅前5号線 【提案事業】 モニタリング調査 【提案事業】 防犯カメラ
<p>【魅力ある滞留空間・交流拠点の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのシンボルとなる交流拠点の整備 ・憩いやレクリエーション等のための滞留・交流空間の機能強化(龍神の杜公園) ・地域のコミュニティ施設の整備 ・都市公園も含めたエリアの一体的な快適性の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 【基幹事業】 龍神の杜公園 【提案事業】 御代田駅周辺まちづくり検討 【提案事業】 モニタリング調査
<p>【まちなかへのアクセシビリティの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかと西側の住宅地をつなぐ幹線道路を整備 ・駅周辺部における回遊起点の整備(駐車機能の強化) 	<ul style="list-style-type: none"> 【基幹事業】 東原西軽井沢線1工区 【基幹事業】 蛇谷地国道線 【関連事業】 駅周辺にぎわい広場整備事業(第2世代交付金 拠点整備事業) 【提案事業】 モニタリング調査
<p>その他</p>	
<p>【御代田町まちづくり基本計画 まちづくりの方針、まちづくりの重点プロジェクト】</p> <p>○方針</p> <p>方針1:グリーン・ベイトなまちづくりの取組 ～浅間山麓の地形や地質、水系、植生など自然基盤の機能や魅力を引き出す～</p> <p>方針2:コミュニティ・ベイトなまちづくりの取組 ～地域内外の人々をつなぐ場やしきみをつくり、文化や産業の創出と継承を図る～</p> <p>方針3:セイフティ・ベイトなまちづくりの取組 ～グリーンベイトやコミュニティベイトなまちづくりのもとに生活上必要な安全・利便が確保され、暮らしの安心が得られるまちづくりを進める～</p> <p>○まちづくりの重点プロジェクト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路・交通の魅力化プロジェクト コンセプト:いざというときに逃げ道となり安全・安心で快適な歩いて楽しいみちづくり 2. 駅及び駅周辺魅力化プロジェクト コンセプト:公園に見立てた駅とまちなか～グリーンパークステーション～ 3. 公園の魅力化プロジェクト コンセプト:多様な人を呼び込む多機能型パークへの転換 4. 住宅地の魅力化プロジェクト コンセプト:住民の交流とアクティビティを活性化させる住環境整備 	

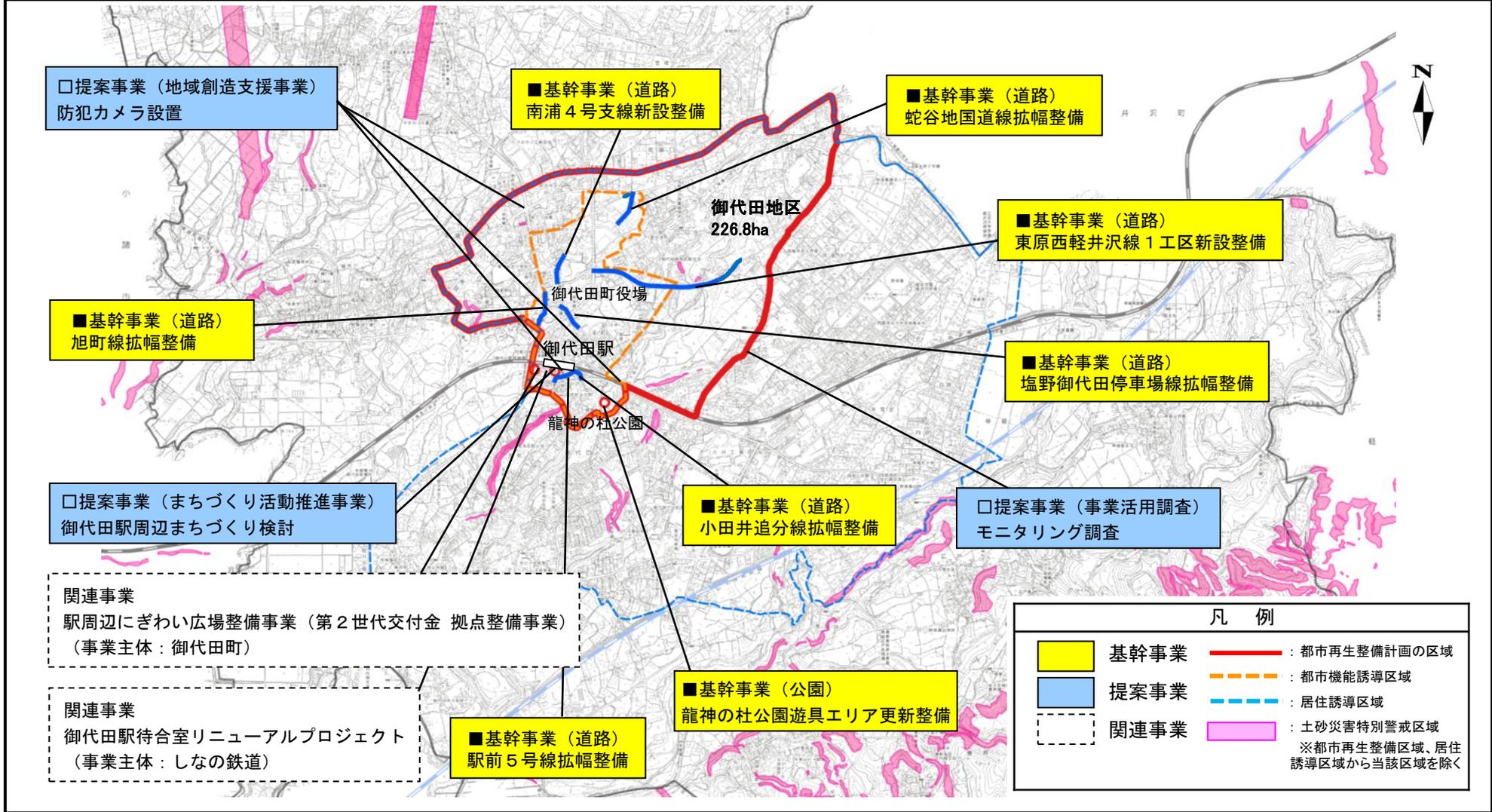
御代田地区(長野県御代田町)

面積	226.8 ha	区域	御代田町の栄町、旭町、三ツ谷、馬瀬口、一里塚、西軽井沢の一部
----	----------	----	--------------------------------



御代田地区(長野県御代田町) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	究極的に住みやすいまち・居住者に選ばれるまちの実現	代表的な指標	まちなかの安全性の向上 (%)	64.70%	(R5年度) →	64.7%以上	(R9年度)
			まちなかの魅力の向上 (%)	50.90%	(R5年度) →	50.9%以上	(R9年度)
			まちなかへのアクセシビリティの向上 (%)	77.90%	(R5年度) →	77.9%以上	(R9年度)



□提案事業 (地域創造支援事業)
防犯カメラ設置

■基幹事業 (道路)
南浦4号支線新設整備

■基幹事業 (道路)
蛇谷地国道線拡幅整備

■基幹事業 (道路)
東原西軽井沢線1工区新設整備

■基幹事業 (道路)
旭町線拡幅整備

■基幹事業 (道路)
塩野御代田停車場線拡幅整備

□提案事業 (まちづくり活動推進事業)
御代田駅周辺まちづくり検討

■基幹事業 (道路)
小田井追分線拡幅整備

□提案事業 (事業活用調査)
モニタリング調査

関連事業
駅周辺にぎわい広場整備事業 (第2世代交付金 拠点整備事業)
(事業主体: 御代田町)

関連事業
御代田駅待合室リニューアルプロジェクト
(事業主体: しなの鉄道)

■基幹事業 (道路)
駅前5号線拡幅整備

■基幹事業 (公園)
龍神の杜公園遊具エリア更新整備

凡例

 基幹事業	 : 都市再生整備計画の区域
 提案事業	 : 都市機能誘導区域
 関連事業	 : 居住誘導区域
	 : 土砂災害特別警戒区域 ※都市再生整備区域、居住誘導区域から当該区域を除く